

まずは自分で問題を解いてから、下の解説を読みましょう（問題の内容を学習する学年も示していますので、中学1・2年生は該当学年の問題を解いてみましょう）。
解説には、 内に**解決する際のポイント**を示していますので、参考にして再挑戦してみましょう！



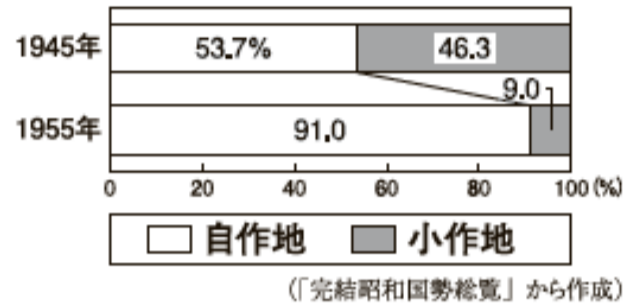
1

優衣さんは、わが国の各時代の特色について、政治や世界との関わりを中心に表にまとめた。表をみて、各問いに答えよ。

〈表〉

時代	政治	世界との関わり
古代	律令に基づく政治のしくみが整えられた。	遣唐使の停止後、①文化の国風化が進んだ。
中世	②武家による支配が始まり、全国に広がった。	[A]
近世	幕府と藩による支配のしくみが整えられた。	③幕府の政策により、外国との交流が制限された。
近代	中央集権国家のしくみが整えられた。	④欧米諸国と条約改正の交渉をし、対等な条約が実現した。
現代	占領下において⑤民主化が進められた。	国際連合に加盟し、国際社会に復帰した。

〈資料Ⅱ〉自作地と小作地の割合の変化



やや難

問6 下線部⑤について、資料Ⅱのような変化が生じた理由を「政府（国）が、」という書き出しで書け。



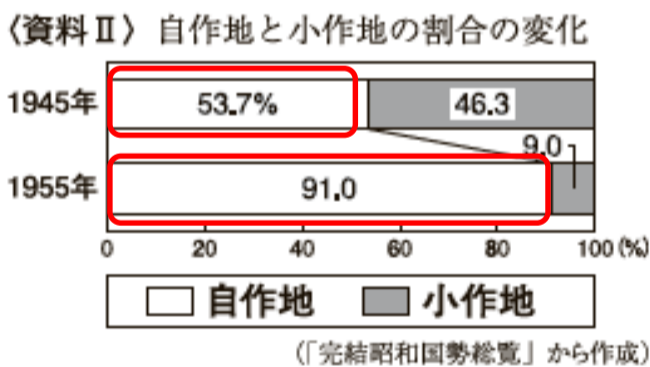
3年生で学習する内容です。

ポイント

次のように解きます。

資料Ⅱの「変化」と関係の深い現代の「民主化」政策の内容を手がかりにしよう。

① 資料Ⅱから、1945年と1955年を比較して変化していることを読み取る。



・自作地が増加し、小作地が減少している。

※なぜ、このような変化が起こったのか。

② 読み取った「変化」と関係の深い占領下における「民主化」政策は何かを考える。

➤自作農家が増え、小作農家が減少している⇒農村の民主化が進んだ 農地改革

③ 農地改革 とはどのような改革だったかを、「政府（国）が、」の書き出しで説明する。

政府（国）が、地主がもつ小作地を強制的に買い上げ、小作人に安く売り渡した。これによって、自作農家が圧倒的に多くなり、農村の民主化が進んだ。

④ 「変化」が生じた理由を説明する文をつくる。

（答）（例）
（政府（国）が、）地主のもつ小作地を買い上げて、小作人に安く売り渡したから。

福岡県立高校入試問題の難しい問題にチャレンジしよう！【社会】①

2

健太さんは、近代以降のわが国と世界の産業や経済に関するおもなできごとをカードにまとめた。カードをみて、各問いに答えよ。

〈カード〉

<p>A ① <u>清との戦争の賠償金</u>の一部を使い、<u>官営八幡製鉄所</u>が設立された。</p>	<p>B わが国で、② <u>高度経済成長</u>が始まり、<u>技術革新</u>が進んだ。</p>	<p>C わが国で初めての<u>鉄道</u>が、<u>新橋・横浜間</u>に開通した。</p>	<p>D ③ <u>P</u>で<u>株価</u>が暴落し、<u>世界恐慌</u>が始まった。</p>
--	---	--	--

難 問4 健太さんは、新たにEのカードを作成した。A～Eのカードを年代の古い順に並べたとき、Eのカードは、年代の古い方から何番目になるか、数字で書け。



2、3年生で学習する内容です。

E 戦争が長引く中、わが国で、生活に必要な物資の配給制が始められた。

ポイント

次のように解きます。



各カードのキーワードを手がかりにしよう。

① A、B、C、Dのカードのキーワードから社会背景を考え、前後のカードを探す。

<p>A ① <u>清との戦争の賠償金</u>の一部を使い、<u>官営八幡製鉄所</u>が設立された。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>官営八幡製鉄所の設立</u>は、<u>重工業が発展するきっかけ</u>になった。 ・ 産業の発展にあわせて、人や物資の輸送に重要な「<u>鉄道</u>」の<u>国有化</u>が進んだ。
<p>C わが国で<u>初めての鉄道</u>が、<u>新橋・横浜間</u>に開通した。</p>	<p>※わが国で<u>初めての鉄道</u>が開通したのは、Aのカードより前 ➤ <u>C→A</u>の順が決まる。</p>

<p>D ③ <u>P</u>で<u>株価</u>が暴落し、<u>世界恐慌</u>が始まった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>株価の暴落</u>は、<u>ニューヨークで起こり</u>、その影響が各国に広がった。 <p>※<u>アメリカ(P)</u>が<u>世界経済の中心</u>になったのは、<u>第一次世界大戦後</u> ➤ <u>A→D</u>の順が決まる。</p>
--	--

<p>B わが国で、② <u>高度経済成長</u>が始まり、<u>技術革新</u>が進んだ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>高度経済成長が始まったのは</u>、<u>朝鮮戦争による特需景気がきっかけ</u>であり、<u>技術革新を背景</u>に<u>重化学工業が発展</u>した。 <p>※<u>戦後のわが国の経済発展の時期</u>なので、Dのカードよりも後 ➤ <u>D→B</u>の順が決まる。</p>
---	---

② Eのカードのキーワードから当時の様子を考え、その原因や背景を示すカードを探す。

<p>E <u>戦争</u>が長引く中、わが国で、生活に必要な物資の<u>配給制</u>が始められた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>日中戦争</u>が長引く中、<u>国家総動員法</u>が制定され<u>配給制</u>が始まった。 <p>※わが国が<u>中国と戦争をするきっかけ</u>になったのは、<u>世界恐慌(D)</u>による<u>経済不況と軍国主義の台頭</u> ➤ <u>D→E</u>の順が決まる。</p>
--	---

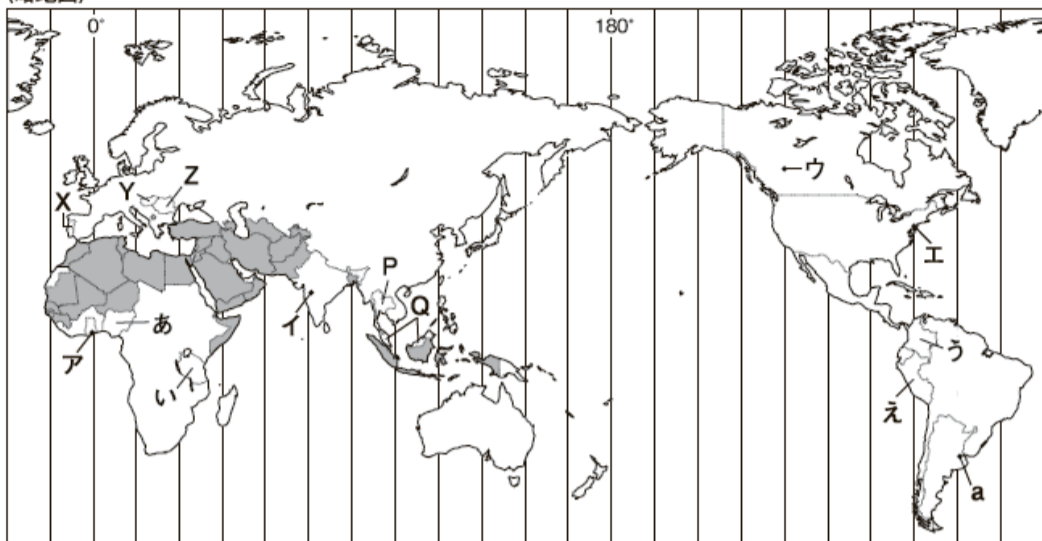
③ カードを並び替える。 ➤ C→A→D→E→B

(答) 4番目

3

愛子さんは、世界の州の特色などについて調べるため、略地図を作成し、資料を集めた。略地図と資料をみて、各問いに答えよ。

〈略地図〉



難

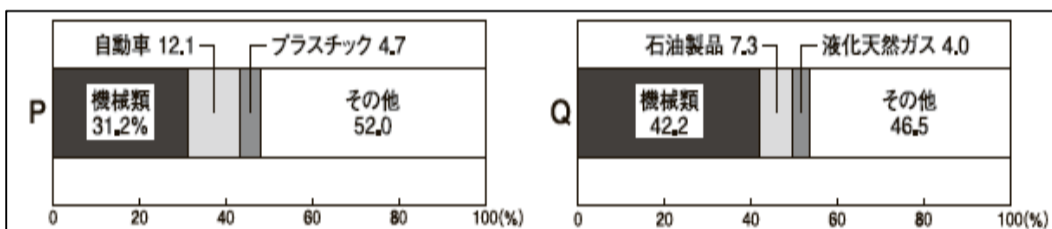
問4 下のノートは、愛子さんが産業の視点からP、Qの国とあ～えの国について、まとめたものである。〔Ⓐ〕にあてはまる内容を、資料Ⅱ、Ⅲから読み取り、「製品」の語句を使って書け。また、〔Ⓑ〕にあてはまる語句を書け。



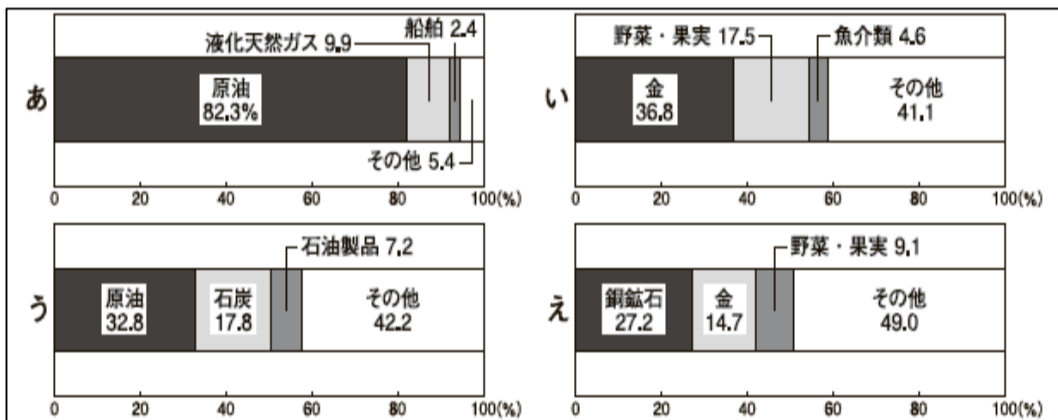
1年生で学習する内容です。

〈ノート〉

〈資料Ⅱ〉 P、Qの国の主な輸出品の内訳（2018年）



〈資料Ⅲ〉 あ～えの国の主な輸出品の内訳（2018年）



【考えたこと】

P、Qの国と比べてあ～えの国に共通する特色は、〔Ⓐ〕ことである。このことは、あ～えの国が〔Ⓑ〕経済であることを示しており、年によって価格などの影響を受けやすく、国の収入が安定しないことにつながっている。

ポイント

次のように解きます。



資料Ⅱ、Ⅲの輸出品目からそれぞれの特色を読み取ろう。

- 資料Ⅱから、P、Qの国で、割合の高い輸出品目を読み取り、共通する特色を考える。
 ・ P：機械類、自動車、プラスチック ・ Q：機械類、石油製品
 (共通点) 工業製品の割合が高い。
- 資料Ⅲから、あ～えの国々で、割合の高い輸出品目を読み取り、共通する特色を考える。
 ・ あ：原油、液化天然ガス ・ い：金 ・ う：原油、石炭 ・ え：銅鋳石、金
 (共通点) 鉱産資源の割合が高い。 > 鉱産資源は、工業製品の原料や燃料として利用される。
- ①、②で読み取った特色を比較して、あ～えの国々の「特色」を、「製品」の語句を使って説明する。
あ～えの国々では工業製品の原料や燃料となる輸出品の割合が高い。

〔答〕 Ⓐ (例) 製品の原料や燃料となる輸出品の割合が高い。

- アフリカ州にみられる一次製品の生産や輸出が多いという特色をもつ経済は何か。

〔答〕 Ⓑ モノカルチャー

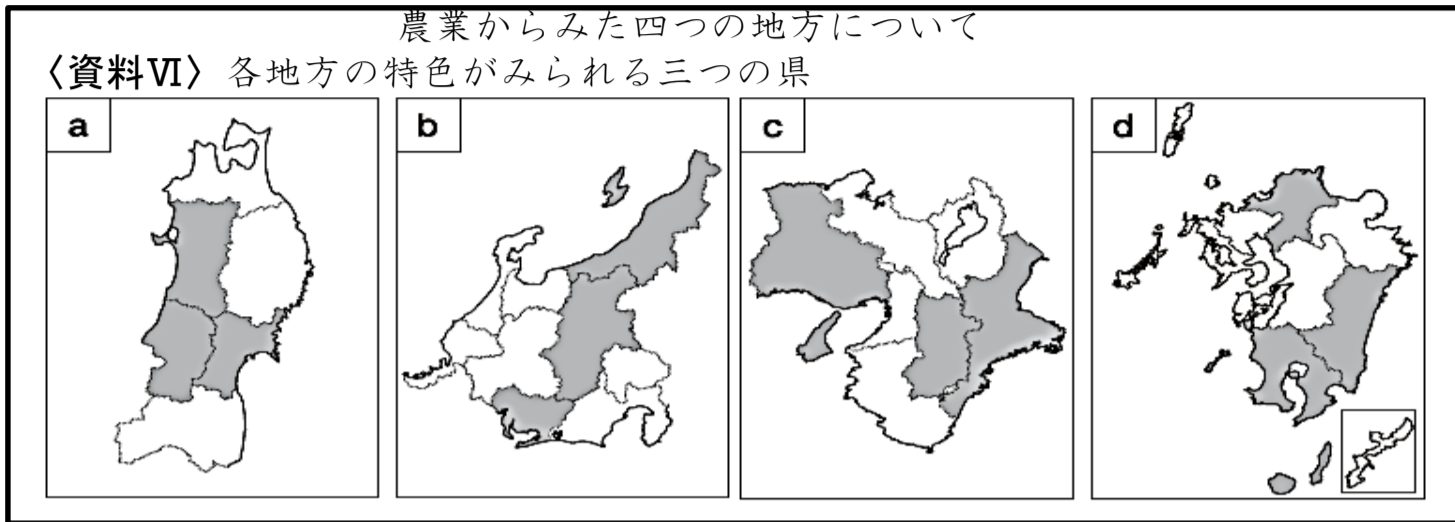
4

洋平さんは、日本の様々な地域の特色について調べ、資料集を作成した。資料集をみて、各問いに答えよ。

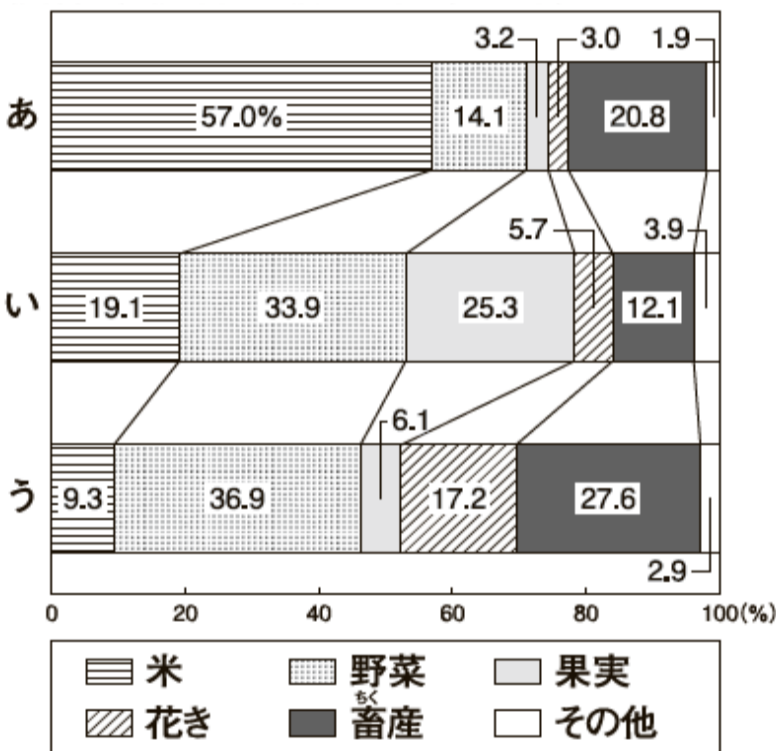
やや難

問4 洋平さんは、資料VIのa～dの○で示す県について、資料VII、VIIIを作成した。資料VII、VIIIの全ての県を含む地方を、資料VIのa～dから一つ選び、記号を書け。

〈資料集〉



〈資料VII〉 農業産出額の内訳（2017年）



〈資料VIII〉 県の人口と
県庁所在地の平均気温と平均降水量

項目 県	人口 (千人)	平均気温(℃)		平均降水量(mm)	
		1月	7月	1月	7月
あ	2 267	2.4	24.3	186.0	192.1
い	2 076	-0.6	23.8	51.1	134.4
う	7 525	4.5	26.4	48.4	203.6

※人口は、2017年の統計



2年生で学習する内容です。

次のように解きます。

ポイント

資料VII、VIIIをもとに3つの県の特色を明らかにし、あてはまる県と地方を考えよう。

① 資料VIIから各県の農業の特色を読み取り、資料VIからあてはまる地方を選ぶ。

あ：米の産出額の割合が高い
➢東北地方、中部地方（北陸）

い：野菜、果実の割合が高い
➢東北地方、中部地方（中央高地）

う：野菜、花きの園芸農業の割合が高い
➢大都市圏、促成栽培や抑制栽培が盛んな地方
…中部地方、近畿地方、九州地方

➢共通するのは、中部地方

② ①から中部地方であると推察されるが、資料VIIIを使って、あ～うの県を特定する。

- 人口：う「700万人を超える」
➢名古屋市（愛知県）
- 平均気温：い「1月の平均気温が氷点下」
➢中央高地、内陸の気候（長野県）
- 平均降水量：
あ「1月が多雨、7月も比較的多い」
➢日本海側の気候（新潟県）
い「1月が少雨、7月も比較的少雨」
➢内陸の気候（長野県）
う「1月が少雨、7月が多雨」
➢太平洋側の気候（愛知県）

（答） b

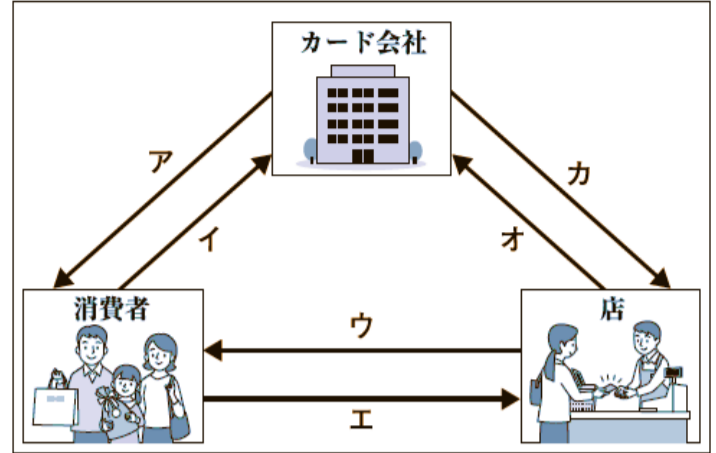
5

健人さんは、「情報化の進展と社会の変化」というテーマでレポートを作成した。レポートを読んで、各問いに答えよ。

〈レポート〉

私たちは、日頃から、新聞、テレビ、ラジオなどの（A）を活用し、情報を得て生活をしている。さらに、近年では、インターネットやスマートフォンなどの情報通信技術が発達し、私たちの社会や生活は変化している。例えば、日本国憲法に明確に規定されていない①新しい人権が主張されるようになったり、②政治参加では、インターネットを活用した選挙運動などが行われたりしている。③企業は、インターネットで商品の情報を幅広い対象に発信するなど、④経済のしくみに影響を与えている。また、消費者は商品を購入する際に、⑤クレジットカードで支払うなど、支払いの方法も多様化している。私たちは、情報化が進む社会を生きていくために、得た情報を正しく判断し活用する力や、情報を利用する際の考え方や態度を身につけなければならない。

〈図〉クレジットカードのしくみ（一部）



やや難

問6 健人さんは、下線部⑤について調べ、図を作成した。

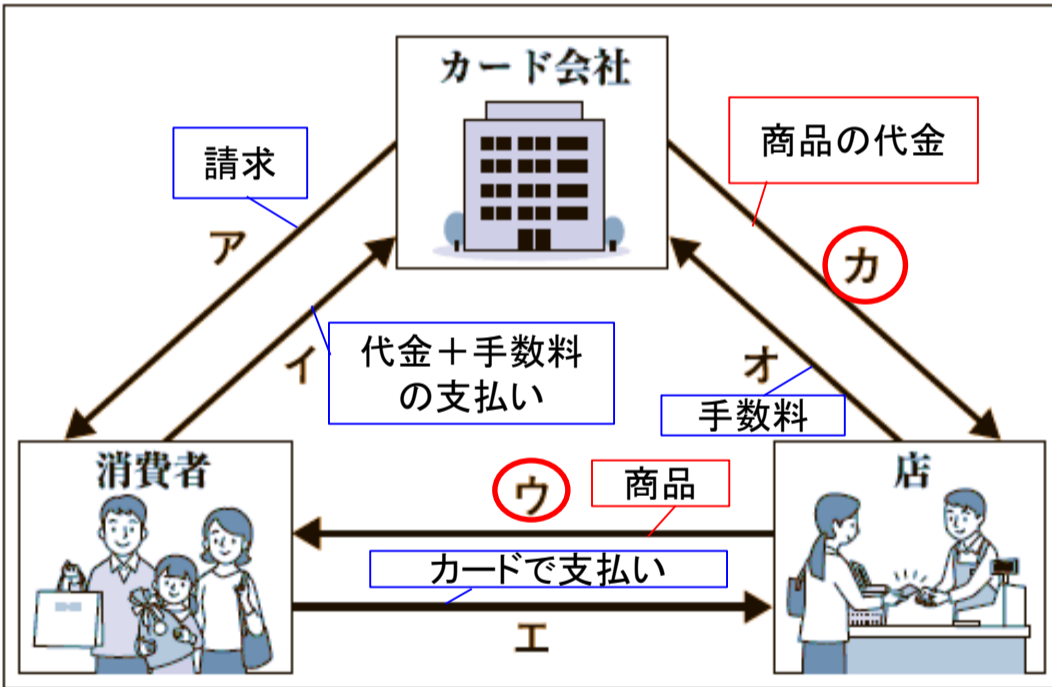
- 「商品」、「立替払い」を示すのは、図のア～カのどれか、それぞれ一つ選び、記号を書け。
- クレジットカードを利用する際に、消費者として注意しなければならないことを、図をみて「代金」と「支払い能力」の語句を使って書け。



3年生で学習する内容です。

次のように解きます。

(1) 「クレジットカードでの支払い」の方法を図で示す。



【クレジットカードでの支払い】
クレジットカードを発行する会社が、一時的に店に代金を支払い（立て替え）、カードを利用して商品を購入した人（＝消費者）が、後日、そのカード会社に代金を支払うことで、支払いを済ませる方法

(答)
立て替え：カ
商品：ウ

ポイント 消費者の支払い方法から注意点を考えよう。

(2) 図をもとに「消費者として注意すべきこと」を考える。

- 「消費者」の支払い方法を読み取る。
 - 商品を購入するが、商品の代金を店に直接支払わない。
 - 商品代金と手数料をカード会社に請求され、支払う。

② ①をふまえて消費者が注意すべきことを考える。

➢ 自分の所得を超えないようにする。

③ 「代金」と「支払い能力」の語句を使って説明する。

(答) (例)
代金を直接支払わないので、支払い能力の範囲内で計画的に利用しなければならないこと

6

下の会話文は、勇太さんと正子さんが、「安心して暮らせる社会」をテーマに学習した際、資料集をもとに会話した内容の一部である。会話文を読み、各問いに答えよ。



日本の人口の特色をみてみると、資料Ⅰ、Ⅱから、〔 A 〕ことが読み取れるので、(B)化が進んでいることがわかるね。



(B)化が進む日本では、今後、どのような取り組みが求められるのかな。



国が行っている取り組みの一つである、資料Ⅲを見つけたよ。なぜ、このような取り組みが行われているのかな。



この取り組みが行われている理由の一つは、資料Ⅳから、〔 C 〕からだと考えられるね。高齢者が、自分の希望に合った働き方ができるようになるといいね。



そうだね。わたしたちも、将来働く際には、自分の能力を発揮して、自分が社会で何を実現したいのかを考え、資料Ⅴのような、働くことの意義を見いだしていくことが大切になってくるね。

やや難

問2 会話文の〔 C 〕にあてはまる内容を、資料Ⅳから読み取り、「全就業者数」の語句を使って書け。



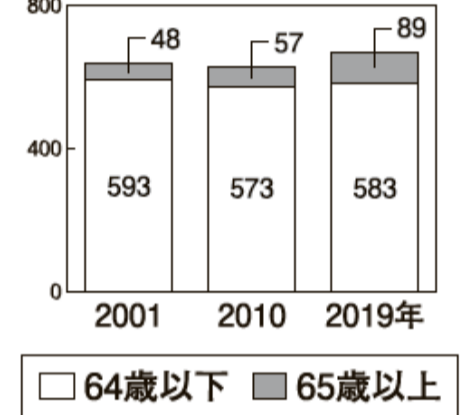
3年生で学習する内容です。

〈資料Ⅲ〉公共職業安定所
(ハローワーク)の取り組み

求職者の皆さまへ
シニア世代のための就職相談窓口
「生涯現役支援窓口」のご案内
65歳以上の方を、重点的に支援します！

(厚生労働省ホームページから作成)

〈資料Ⅳ〉就業者数の推移
(十万人)



(総務省ホームページから作成)

次のように解きます。



- 〔 C 〕にあてはまる内容は、資料Ⅲの取り組みが行われている理由なので、資料Ⅲからどのような取り組みなのかを読み取る。
・仕事をしたいと考えている65歳以上の方の就職を重点的に支援する取り組み。
- 「全就業者数」を手がかりに、なぜ、高齢者への就業支援を重点的に行う必要があるのか、理由を説明するための根拠となるデータを資料Ⅳから読み取る。

ポイント

単に「65歳以上の就業者数の推移」を読み取るのではなく、「全就業者数」と「65歳以上の就業者数」の関係（全就業者数に占める65歳以上の割合）を読み取ろう。

- ・2001年： $48 \div 641 \times 100 \rightarrow 7.488\%$
 - ・2010年： $57 \div 630 \times 100 \rightarrow 9.047\%$
 - ・2019年： $89 \div 672 \times 100 \rightarrow 13.244\%$
- 65歳以上の就業者数の割合が高くなっている。

- 〔 C 〕にあてはまる理由を説明する文をつくる。

(答) (例) 全就業者数に占める、65歳以上の就業者の割合が大きくなっている